

浅羽北地区

構成自治会連合会:浅羽北

茶畑や田園、ハウスなど農の風景が雄大に広がり、工場の集積により産業の活気があります。増加する外国人との多様な交流、そして地域の助け合い・つながりの温かさが魅力の地域です。



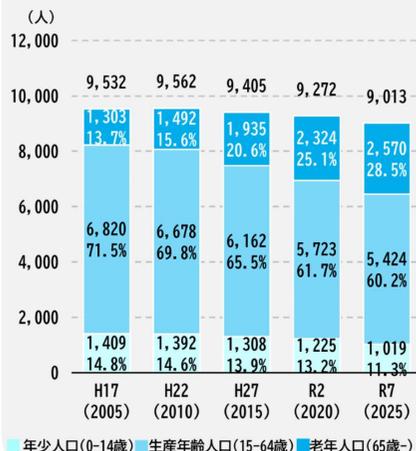
現状 (SWOT 分析「強み」から)

- 1.他地区に比べ人口が多く、減少も緩やかです。
- 2.自治会を中心に祭りや地域イベントが盛んで、住民の団結力が高い地域です。
- 3.つながりが強く、生活支援ネットワークが地域の困りごとを支援しています。
- 4.浅羽支所やメロープラザ、浅羽図書館などの公共施設が集積しています。
- 5.日本語学校があるため、若い外国人住民が増加しています。
- 6.避難行動ロードマップの作成や黄色いハンカチの全戸配布など、防災意識が高い地域です。
- 7.茶畑や田園、ハウスなど農の風景が広がっているほか、多くの工場が立地しています。
- 8.幹線道路が通っており、交通アクセスが良好です。
- 9.日帰り温泉施設やイチゴ観光農園などの観光施設があり、地域の魅力発信につながっています。

課題 (SWOT 分析「弱み」から)

- 1.地区が広く、自治会ごとの高齢化率に差があります。結びつきにばらつきはありますが、少子高齢化が進行しています。
- 2.外国人住民が増加しているものの、地域との交流が少ないため、工夫が必要です。
- 3.地震時の液化化や豪雨水害などの災害への脆弱性が懸念されます。
- 4.消防団への若手の参加率が低下し、地域行事の担い手不足が深刻化しています。
- 5.農業経営者の高齢化が進み、茶畑やハウスなどの農業景観の維持に後継者不足が影響しています。
- 6.生活支援ネットワークの支援対象者が増加し、地域の見守り体制を見直す必要があります。
- 7.県道磐田袋井線など幹線道路の交通量が多く、交通事故の危険性が懸念されます。
- 8.身近にあった飲食店や生鮮食品店が減少しています。
- 9.空き家が増加傾向にあります。

人口推移



まちづくりの方針図



スローガン 目指すまちの姿

公共施設や自然の活用と幅広い世代や多文化の交流で
誰もが住みやすさを実感できるまち

まちづくりの推進方針

1. 公共施設と自然を活用して、誰もがつながるまちづくり

メロープラザやあそびの杜などの公共施設を活かし、自然と共生しながら、子どもから高齢者まで世代を超え、外国人とも交流ができる誰もがつながりのあるまちを目指します。

2. みんなで話し合い、助け合う、住みやすさを育むまちづくり

高齢者への配慮や公共施設の活用を見据えて、みんなで話し合い、住民が主体となって地域の魅力を発信するなど、住みやすさを育むまちを目指します。

地域内の取組

- 誰もが参加しやすい地域イベントの開催や PR (コミセンまつり、夏まつり、餅つきなど)
- 地域活動(祭りなど)を続けていくための意見交流の場を作る
- SNS(ライン、インスタグラムなど)を活用した地域情報の共有化と活動の PR(SNS 勉強会など)
- 外国人との文化・食を通じた交流イベントの企画や開催
- 子育てしやすいことを PR する、子育て世代に何が必要か聞く場を作る
- 災害時避難支援体制の構築

- 生活支援ネットワークの拡充による地域住民の生活(外出)支援の充実
- メロープラザ周辺を中心としたまちづくり(個人店等の飲食店への勧誘など)
- 伝統芸能の保存と活用(秋祭りでの神事や岡山山の神祭り)
- 郷土資料館の活用と連携

- ◇ ふれあい夢市場の継続開催
- ◇ 県道袋井大須賀線整備促進事業
- ◇ こども交流館あそびの杜整備
- ◇ 弁財天川排水区整備事業
- ◇ 消防団 浅羽第1分団車庫建設事業

○ まちづくり協議会が主導する取組 □ 協働による取組 ◇ 行政が主導する取組

地域のみなさんの声 (取組を進める上で参考となる意見など)

- 浅羽北地区の「黄色いタペストリー」の配布・掲出の取組は、市全体で導入してはどうか。
- 防災面では、防潮堤や命山などインフラ整備の進捗を感じているが、要支援者の避難対応などソフト面での整備についても検討する必要がある。
- SNSなどで、これから家を建てる子育て世代の勧誘ができるとよい。
- 米づくり体験や茶畑・諸井里山などを活かした自然体験で田舎の良さを PRしてはどうか。
- 高齢者が経験を活かし、活躍できる場を増やしたい。
- 市の未来を考える地域座談会などへ、若い世代の参加が多くなる取組が必要ではないか。
- コロナ後の祭典には、子どもや親世代が集まり、にぎわいが回復しており、地域コミュニティの維持に祭典の価値を再認識した。
- 小学生の通学ルートを、安全・安心の視点で見直してほしい。
- 馬伏塚城の御城印を制作してはどうか。
- 市民はエコパを安く使えるような取組など、文化と遊び場を充実させてほしい。

まちづくり協議会主導

行政主導